

# 会 議 議 事 録

1	会議名	令和6年度 第1回長岡市栃尾美術館協議会
2	開催日時	令和6年7月18日(木曜日) 午前10時から11時30分まで
3	開催場所	長岡市栃尾美術館 1階 アトリエ
4	出席者名	(委 員) 8名 境野 委員、星野 委員、目黒 委員、北山 委員 岡村 委員、山本 委員、渡辺 委員、柴田 委員 (事務局) 4名 竹内 教育部長、梅沢 中央図書館長、五井 中央図書館長補佐 諏佐 栃尾美術館長、坂井 栃尾美術館主査、酒井 会計年度任用職員(学芸員)、加藤 会計年度任用職員(学芸員)
5	欠席者名	0名
6	議題	(1) 報告事項 ①令和5年度後期事業について ②令和6年度事業計画について (2) 協議事項 令和7年度栃尾美術館開館30周年の取り組みについて
7	審議結果の概要	・議題(1)報告事項について 事務局提案のとおり承認した。 ・議題(2)協議事項について 事務局提案に対し意見等をいただいた。
8	審議の内容	
	事務局	<p>議題(1)</p> <p>① 令和5年度後期事業報告 (資料1-1、1-2、1-3、1-4により説明)</p> <p><b>【展覧会事業】</b></p> <p>・「第17回ながおかのこども作品展」 アンケートを見ると「自分の絵が飾られてうれしい」「色々な学校や園の作品があってよい」等の感想が見られた。市の中心地から離れた場所での開催ではあるが、多くの方にご来館いただくことができ、意義ある展覧会ではないかと思う。</p> <p>・「ふるさとのこどもたち展」 集客が難しい真冬の2月に、地元の子供たちの作品展で、当館をにぎやかに盛り上げていただいている事は大変ありがたく感謝申し上げたい。</p> <p><b>【普及事業】</b></p> <p>・「張り子の辰 絵付けワークショップ」 大変人気の企画で、年末の恒例行事として期待されている。</p> <p>・「プラバンであそぼう」 オープンアトリエ形式で実施。アンケートでは「子供も大人も気軽に楽しめた」という感想が多く、子ども展にぴったりのイベントだった。</p> <p>・ワークコーナー</p>

	<p>3カ月間という長期の企画で、参加者が多かった。</p> <p>② 令和6年度事業計画 (資料2により説明)</p> <p><b>【展覧会事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「館所蔵品展～春の展示～」は実施済。地域ゆかりの作家の作品約60点を展示。12日間で220人の観覧者があった。</li> <li>・企画展「日本刀の美V」も実施済。鎌倉時代から現代までの日本刀や、刀装具など、約100点を展示。50日間で約2,800人の観覧者があった。</li> <li>・写真展「星野道夫 悠久の時を旅する」を現在開催中。昨日までの10日間で、835人の観覧者があった。人気の写真家ということもあって、出足は好調。8月25日には、星野道夫の妻、直子さんの講演会を予定。星野道夫は教科書の常連で、今年度も中学・高校の教科書11冊に使用され長岡市で採用されている「中学美術」にも写真が掲載されている。</li> <li>・「長岡の絵本作家 松岡達英展」では、松岡さんが昨年長岡市に寄贈された絵本原画等約450点の内、約100点を公開予定。以前科学博物館に寄贈された昆虫標本も展示予定。初日にオープニングセレモニーを行う。</li> <li>・冬の企画展は例年通り、こどもの作品展を2つ開催予定。</li> </ul> <p><b>【普及事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「刀剣×ペーパークラフト」を実施済。18人の参加があった。</li> <li>・夏休み☆こども造形講座は「陶芸にちょうせん」、「オリジナル時計をつくろう!」「切って、はって、つくろう なぎさモンスター」を行う。</li> <li>・「とちびまつり」毎年恒例のイベントで10月に予定。</li> </ul> <p>このほか、松岡達英展の会期中のイベント等を検討中。</p>
会長	この説明に対して、ご質問等はあるか。
委員	私の保育園のこどもたちは皆美術館に来ることで愛着を持っているし、美術館に展示されることで親も喜んでいる。引き続きお願いしたい。
会長	他になければ承認させていただく。
事務局	<p>議題(2) (資料4により説明)</p> <p>栃尾美術館が来年開館30周年を迎えることから、期待することや、事業のアイデアなどがあれば、参考までお聞かせいただきたい。</p>
会長	この説明に対して、ご意見、感想、アイデア等はあるか。
会長	「茶と美展」の長岡茶道協会はどのような組織か。

委員	流派は問わず長岡で茶道を愛する人たちの集まりという理解で良いと思う。
事務局	これまでアオーレ等で展示と茶会を1日でやられていたのを、美術館で長い会期で実施し、自分たちの活動やお茶の文化を広めたいというような要望を聞いている。
委員	トチオーレに茶室があったと思うが連携はあるか。
委員	トチオーレ近くのお店でワイン関係の仕事を手伝っているが、栃尾美術館の写真展を見たという若い方が立ち寄りしたりしている。街場との連携も十分考えられると思う。
委員	「瞽女」写真展をやるのであれば、今、長岡で瞽女歌を伝承している人たちのワークショップをやると良いのではないか。今、瞽女歌を聞いたことがある人はほとんどいないと思う。
会長	造形大学の卒業生でも、直接ではないが関係者の弟子となって瞽女歌を練習しているとか、高田の瞽女文化を守る動きなども聞くので、写真だけでなく瞽女歌もあると良いと思う。
委員	瞽女の漫画もあるので、美術館の物販に置くと若い人にも興味を持ってもらえるかもしれない。
委員	購入企画展の理解が違っているかもしれないが、大地の芸術祭に出品している地元ゆかりのアーティスト達で、海外でも展示されるほど有名になっている方がいるので高くなる前にお問い合わせするのはどうか。 駅から近いアオーレの展覧会には一人でふらりと行っても、栃尾美術館に来るには車なので、大勢で来るということもある。 ギャラリーを借りる人に美術館の展覧会チラシを一緒に配ってもらうと、相乗効果がある。
会長	30周年の企画にあたって、市民に楽しんでいただく企画の実施だけでなく、その先を見据えて訴えたいコンセプト等の考えはあるか。
事務局	今のところ具体的な考えはない。今後相談したい。
会長	この美術館をこういうふうにしていきたい、市民との関係をこうしていきたいといったものがあれば、そのアピールに向けて企画するという流れになる。今回提案の企画はそれなりにいいと思うが、30周年企画という趣旨につながっているかどうかの見方・判断が難しいと感じ

	<p>じた。</p> <p>いつも協議会で話題となっている、特に小学生や高齢者に来ていただくための交通手段について、例えばスクールバスとか、日中空いている時間帯に授業にとりいれてもらう等は可能か。</p>
事務局	<p>現在、市内のほとんどの学校が自前でスクールバスを持たず、朝夕の通学時のみ、バス持ち込みのリースとなっているため、目的外使用ができない状況である。運転手もその時間しかいない。長岡市だけの問題でなく、他の地域でも同様である。</p>
委員	<p>学校で動くには、お金を払ってわざわざ越後交通のバスを借りなくてはならないのが現状。トチオーレにも行けていない。</p>
事務局	<p>長岡市だけでなく、市内 85 校のうち、バスを運行している 20～30 校の運転手の朝・夕の配置すら不可能となっているのが現状。</p> <p>フルタイムで運転手を雇うとなると莫大な予算が必要となる。</p>
会長	<p>栃尾美術館が来年度 30 周年の企画として予算立てをするならば可能か。アイディア出しという意味で。毎日の話ではない。</p>
事務局	<p>30 周年企画として、何か考えるということは可能。</p> <p>やるとしたら夏休み期間中に、さいわいプラザ等からバスを出すみたいなことは、現実として考えられると思う。</p> <p>バスの問題は、学校の教育環境にも関係があり、大きな課題となっている。市の中心部とそれ以外の部分で不平等が生じないようにと、教育委員会で一生懸命検討している。</p>
委員	<p>30 周年では、美術部のある学校にも作品提供依頼をしてはどうか。</p> <p>美術部でなくても、個人でやっているデジタルワークとかも良いかもしれない。</p>
事務局	<p>中学校では美術の時間がなかなか取れず作品が少ないため、今も美術部からの出品はある。ただ、美術部が絶対的に少ないため、声掛けしても増えないのが現状。</p>
委員	<p>移動にお金をかけるのが難しくても、お子さんの出品作品数が増えれば、親御さん、親戚、友達と一緒にいこう、というきっかけになるのでは。</p>
委員	<p>美術館に飾られる良さをもう少し伝えられると良い。</p>

会長	<p>栃尾の子どもの減少など、少しずつ考えていかななくてはいけないと感じる。秋葉中の美術部も無くなるようだ。</p>
委員	<p>うちも美術部はない。美術の先生も大体3校くらい兼務している。大きい学校以外では美術免許を持った先生はいない。部活動も地域へ移行の方向なので、学校での部活はこれからはどんどん少なくなる。</p>
事務局	<p>児童生徒数に応じて先生の人数が決まっているので、美術・技術・音楽等は、複数校を1人の先生が持ち回るのが主流となっている。</p> <p>現在、中学校27校中、美術部があるのは1校のみ。世の中の多様化の裏に、これまで主流だった部活動が影を薄めていくという状況がおきている。</p>
委員	<p>「ふるさとのこどもたち展」では、栃尾地域の子どもの減少が課題。点数が少ないので、作品を大きくするなど工夫している。今後は小中学生、高校生を入れたり、共同作品にすることを考えても良いのではないか。</p>
委員	<p>20年間図書ボランティアをやっているので、子どもの減少や様変わりを実感しているが、少ないなりに楽しませてあげたい。たとえば、テーマをもうけて合同でつくる、美術館にしか飾れない大きな立体を作る、30という数字を入れる、栃尾のあぶらげ等をテーマとする、親子や町内会・高齢者施設のグループでもいい等、学校という括りを決めなくても面白いと思う。大勢が関われば集客にもつながる。</p>
会長	<p>これまでの「出してください」という受け身でなく、30周年だからこそこういうことを考えています、賛同してくださる方は作品作ってくださいみたいな働きかけは、あってもいいかもしれない。</p>
委員	<p>30周年は節目。特別予算のない中で特徴を作ることが大事。市民を巻き込み、継続的に行うこと等で、総合的な効果が出ると思う。</p>
委員	<p>美術館だけでなくトチオーレやとちパルにも作品等があって、スタンプリーマイに人が動いて、つながっていくと面白い。</p>
委員	<p>楽しくないと集まらないというのはある。市展でもお客様の減少が問題。長岡だけではない。それでも、できることから変えていけると良い。現代アートとか、今までと違うアイデアとか、少し変えるだけでも新しい発想が出てくる感じがする。美術館や図書館の役割がキーとなるような気がする。</p>

会長	<p>子どもの作品展で、例えば写真はハードルが低いので、栃尾というテーマでスマホで写真を撮って、送っておくと展示されるとか。美術館はプリントアウトだけなので、A3ノビぐらいの良いプリンターを用意して。そういう参加型で、やり方を考えると何かあるかもしれない。企画で変わるというのが大事。</p>
委員	<p>1年間の展示でのスタンプラリーも良い。予算はかからない。</p>
会長	<p>年間パスのような。</p>
委員	<p>年間パスも良いし、来た回数に応じてバッジがもらえるとか。通年のテーマがあれば、毎回来てくださいというアピールもできる。通ったらよいことがあるというイメージ作り。せっかくの30周年なので、そういうことがあっても良い。</p>
委員	<p>地元で30才ぐらいの新進気鋭の現代美術家が3人いる。小学生の頃見ていて、私たちのやっているコンクールで良い賞を取るなどしてきた。子どもも好きだし、地域と関わりたいと思っている人たちなので、イベントなどで協力してくれると思う。作家も名前を知っていたら、そういったことを通じて、彼らも育てていただけたら。</p>
委員	<p>いろんな学校のワークショップで子供たちも一緒につくると、愛着がわく。</p>
委員	<p>私の園では毎年、その作家が来て子どもたちと干支を作っている。</p>
委員	<p>美術館がちょっとバックアップするだけでも広がるような気がする。若い人がやるという雰囲気づくりが大事だと思う。3人もいれば宝である。若い人はつながりがあって、夢が広がっている。</p>
会長	<p>地元でそんな方がいると、お聞きできてよかった。  本日の議事はこれで終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>